

古墳時代の 玉飾りの世界

第 3 回
古代歴史文化
協議会講演会

平成29年11月18日 土
13:00~17:00 (開場12:00)

会場

よみうり大手町ホール
(東京都千代田区大手町 1-7-1)

対象

一般 500名 (聴講無料、事前申し込み)

主催

古代歴史文化協議会

(埼玉県、石川県、福井県、三重県、兵庫県、
奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、
広島県、福岡県、佐賀県、宮崎県の14県で構成)

読売新聞社

プログラム

13:00 ----- 開会挨拶
13:10 ----- 基調講演

菅谷文則 (奈良県立橿原考古学研究所所長)

「玉類研究から古墳時代像を見直す」

14:20 ----- パネルディスカッション
コーディネーター 菅谷文則

～テーマ①～

「古墳時代の玉飾りの世界」

パネリスト: 三重県、兵庫県、奈良県、
岡山県、広島県、佐賀県の研究担当者

～テーマ②～

「古墳時代の玉類」

パネリスト: テーマ①パネリスト、
伊藤雅文 (石川県、第1回パネリスト代表)
吉田東明 (福岡県、第2回パネリスト代表)

17:00 ----- 閉会

左上 奈良県橿原市 新沢千塚 500号墳
メノウ・水晶・ヒスイ勾玉
左下 三重県松阪市 常光坊谷4号墳
巫女形埴輪 (松阪市教育委員会)

開催趣旨

古代歴史文化協議会は、古代歴史文化の調査・研究・啓発に関心のある14県が参加し、共同して調査研究することにより、各県の地域的研究だけでは、明らかにできなかった日本の大きな古代史の流れを解明することを目的に活動しています。

平成26年度から「古墳時代の玉類」をテーマに、各県が共同して調査研究を進め、みなさまに古墳時代の「玉」を通して日本の古代史への興味を深めていただけるよう、一昨年は「古墳時代の玉作りと神まつり」、昨年は「玉から古代日韓交流を探る」と題して講演会を開催しました。

第3回目の今回は、「古墳時代の玉類」をテーマにした講演会の最後になります。古墳時代の玉の装い、流通、信仰について考えます。古墳時代の玉飾りの変遷、玉で飾られた人物、玉の使われ方、それらへの王権の関わりと地域の独自性について、この研究の第一人者による講演を行います。各県担当者によるパネルディスカッションでは、「古墳時代の玉飾りの世界」の検討に加え、第1回から今回までの討論のとりまとめを行います。



基調講演講師

菅谷 文則

1942年奈良県生まれ—1968年奈良県立橿原考古学研究所入所。メスリ山古墳、天神山古墳、桜井茶白山古墳などの調査にも参加する。滋賀県立大学名誉教授。現在、奈良県立橿原考古学研究所所長、古代歴史文化協議会研究部会長として「古墳時代の玉類」研究に従事。

申込方法

事前申し込み制 締切：11月10日(金)必着

定員500名(聴講無料)

往復はがきに住所・氏名・電話番号・参加希望人数(2名まで可)を明記のうえ、下記の申し込み先までお送りください。お申し込みの際は、「古代歴史文化協議会講演会参加申込」と明記いただきますようお願いいたします。先着順とし、当選者には参加証を返送いたします。詳細については、下記文化資源活用課のホームページでご案内します。



佐賀県鳥栖市 都谷14号墳 玉類

お申し込み・お問い合わせ

奈良県地域振興部文化資源活用課内
古代歴史文化協議会事務局

〒630-8501 奈良市登大路町30番地
TEL：0742-27-2054 FAX：0742-27-0213
<http://www.pref.nara.jp/39170.htm>